

当院のコロナ対策の記事が市民新聞に掲載されました

広域市民新聞

新しい地方の時代を拓く地元最大 令和2年7月19日
昭和55年1月創刊 編集発行 さおり出版社
佐野市金吹町2384 TEL0283(22)0683 FAX(22)8180

佐野厚生総合病院 最前線佐野市のコロナ対策は？ 院長 村上円人

2月上旬のクルーズ船の患者さん受け入れから、感染症チームの井上副院長と深田看護師を中心複数の患者さんの入院診療を続けております。県内感染患者さんは、県や健康福祉センターが当院を含めた感染症の担当施設と調整し入院先が決まっています。

当院は院長の陣頭指揮のもとで、感染症チームを増員し、様々な診療部門を組織化し病院全体で取り組んでおります。当院を利用される市民をウイルスから守ることが使命と考えております。感染を広げないために患者さんの隔離と個人防御具の正しい着脱を遵守



佐野市役所ボランティアからのフェイスシールド

し、外から持ち込まないために、多職種による検疫チームが検温を行う新しい入口管理が始まりました。検査チームは院内でのLAM P法による遺伝子検査を拡大し5月から全予定手術例、7月からは全予定入院例の入院前検査が始まり、安全な

環境整備に努めております。また面会制限の継続に伴いオンライン面会も開始しました。今後迅速抗原検査法の導入など、さらなる診療レベルの向上を予定しております。

これまで佐野市役所や市民の皆様より暖かいご支援ご寄付を多数賜り、この場をお借りして心より感謝申し上げます。通常の急性期診療も維持しつつ、職員員の疲労蓄積のなかで院内感染対策にも配慮し、今後も職員一同頑張りますので今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



検疫チーム